

A SEED JAPAN 2024年度事業報告書

2024年度概要

ESGウォッチプロジェクトは、政策提言チームと普及啓発チームに分かれて活動を進め、資産運用会社の取り組みのスコアリング調査(政策提言チーム)やESG投資をはじめて知る人向けの入り口のツールとして、アクションガイドの作成(普及啓発チーム)を行いました。またメンバーからの発案で、企業の社員向け(ESGウォッチメンバーの職場)のESG投資に関する勉強会の企画も実施しました。そしてESGウォッチプロジェクト担当理事として数年ぶりに学生が理事に就任しました。

2024年度の運営は有給スタッフを置かず、事務局業務は、理事3名で分担して行いました。また人材獲得に向けてはオリエンテーション担当チームをつくりメンバー募集のオリエンテーションを積極的行いました。担当チームのディスカッションの中でA SEED JAPANの組織風土を重視して伝える必要性を確認しました。活動メンバーの定着への問題意識からオンライン交流会やしゃべり場など、オリエンとプロジェクトミーティングの橋渡しになるような場をつくる試みも行いました。

2025年度も活動の活性化と新たな活動メンバーの定着につながる機会を引き続きつくっていきたいと思います。

・役員／事務局スタッフ・ボランティア

役員

名前	役職	担当
大坂 紫	理事	組織基盤(*)
大村 哲史	理事	人財
鈴木 真悠子	理事	ESGウォッチプロジェクト
鈴嶋 克太	理事・事務局スタッフ	ESGウォッチプロジェクト
濱田 恒太郎	代表理事	全体統括、組織基盤(*)
三本 裕子	理事	組織基盤(*)
矢口 拓也	監事	
山田 遼	監事	

(*)事業以外の組織運営に必要なことを組織基盤と表現し担っています。

事務局事業委任スタッフ

名前	役職	担当
富田 一	委託	会計

活動報告

年間の活動

2024年度は、イベント開催だけでなく、他団体のイベントへのブース出展やミーティングへの参加など積極的に対外的な関係性構築にも注力した一年となりました。サステナカフェは、ESGウォッチプロジェクトのメンバーが、自分の興味関心のあるテーマについて発表する機会として実施した。

月	内容
4月	・アースデイ東京2024に出展
5月	・内部勉強会 / サステナカフェ「Youth Activism School(主催:パタゴニア日本支社)参加報告」(鈴木) ・内部勉強会 / サステナカフェ「国境炭素税など、カーボンプライシングについて」(豊田)
6月	・会員総会 ・「NPO×学生・次世代×未来社会」(主催:新宿NPO協働推進センター)に登壇・参加(鈴木、鈴木、高橋)
7月	・内部勉強会 / サステナカフェ「オリンピックと環境問題」(鈴木) ・内部勉強会 / サステナカフェ「GPIFとESG投資」(高橋)
8月	・内部勉強会 / サステナカフェ「発展途上国の女子教育と環境問題」(多田) ・若者環境団体合同合宿に参加(主催:一般社団法人日本若者協議会)(鈴木、高橋) ・オリエン企画 / 夏のオンライン交流会
9月	・SEED TRAINING ・企業向けクローズ企画 / ESGウォッチプロジェクト勉強会(趙)
10月	・オリエン企画 / 秋のオンライン交流会
11月	・オリエン企画 / 「メンバー交流企画!しゃべり場!~思いをカタチに~(テーマ:参加メンバーの自己紹介、ASJへの思いを共有)」
12月	・オリエン企画 / 「メンバー交流企画!しゃべり場!~思いをカタチに~(テーマ:これってホントにエコなの...?)」 ・2024年度(第2回)資産運用会社の気候変動への取り組み状況調査 発送(ESGウォッチプロジェクト)
2025年 1月	・内部勉強会 / サステナカフェ「公正な移行、ポーランドの脱炭素政策」(高橋)
2月	・オリエン企画 / 「メンバー交流企画!しゃべり場!~思いをカタチに~(テーマ:酒井隆史著『ブルシット・ジョブの謎』から考える、資本主義システムと仕事のあり方)」

3月	・オリエン企画 /「メンバー交流企画！しゃべり場！～思いをカタチに～(テーマ:その活動は何のため?「やりたいからやる!」を考える ～Community Organisingの手法とともに～)」
----	--

ESGウォッチプロジェクト

活動概要

市民一人ひとりがESGの重要性とその本質を理解し、環境・社会問題や政治・経済(金融)についての知識を持つ。そして、当事者意識を持って資産運用会社・個人投資家などのESG金融(投資)(※)に関するステークホルダーに働きかけ、持続可能で公正な投資を実現する。

(※)ESG金融(投資)とは、社会や企業活動の持続可能性には、企業への融資や投資に際して、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)に配慮することが大事であるという考え方

2024年度Objective:プロジェクトの目標

1. 【対市民】一人ひとりがESGウォッシュを見抜くための知識を持っている
2. 【対金融セクター】ESGに関する資産運用会社の運用方針や取り組みが改善される

※ESGウォッシュ:ESGに関する資産運用会社の宣言・目標と実際の行動に、ギャップがあること。

2024年度活動評価

【対市民】	評価
事業計画 i) 以下の勉強会・イベントを実施する。 i) -1 ESG投資について、気候変動(ESGのE)の観点で理解を深めるための勉強会・ヒアリングを実施する(3回)。 i) -2 年度の後半に、1年間の活動の成果、調査結果等を発表する活動報告会を実施する(1回)。 i) -3 新しいテーマを見つけるための活動(大学生・若者を対象に、サステナビリティに関する話題について話し合う「サステナビリティ・cafe(仮)」など)を実施する。 ii) ESGウォッシュを防ぐための心構えを宣言する「ESGウォッチ宣言」と「若者のESGウォッシュに対する意識調査」への回答を集める。 「宣言」を集める具体的取り組みとして、以下を実	i) -1 未開催 i) -2 未実施 ※ただし、運用会社のスコアリングを2025年4月14日にプレスリリースした後、4月19日に有識者を招いての戦略会議を実施した(JACSES 田辺有輝氏、Rainforest Action Network 川上 豊幸氏)。 i) -3 サステナカフェ(サステナビリティ・cafe)を6回実施した(詳細はカレンダー参照)。 ii) アクションガイドを完成させたが、ESGウォッチ宣言を積極的に集めることができなかった。

施する。 ・「ESGウォッチ宣言」、ESGウォッシュの問題と具体例、「若者のESGウォッシュに対する意識調査」、「運用会社のESGの取り組みスコアリング結果」をまとめた普及啓発冊子「アクション・ガイド」を作成し、ウェブサイトやSNSで拡散する。 また、「アクション・ガイド」「ESGウォッチ宣言」の露出を高めるための取り組みとして以下を実施。 ・アクション・ガイドをESGウォッチの特設キャンペーンサイトに公開する。 ・「ESGウォッチライター」を募って、キャンペーンサイトにブログ記事を投稿する(月1回)。 ・勉強会・活動報告会の場で、宣伝する(4回)。 ・イベントのブース出展を行ない宣伝する(2回)。 ・Instagramの投稿を活発化させる(月2回)。 ※「アクション・ガイド」は、ESG投資においてウォッシュが存在するという問題を認識し、無くすための具体的行動を促すものとする。	・「ESGウォッチ宣言」を促すアクションガイドを完成させた。今後適切なタイミングでウェブサイト上にも公開し、SNSを活用して拡散する。 ・キャンペーンサイトのブログ記事投稿は出来なかった。 ・勉強会・活動報告会は未実施。 ・2024年度ブース出展はアースデイ東京のみとなった。アクションガイドの作成は2024年度下半期だったため配布していない。アースデイ東京にてステージアピール(活動紹介)を行った。 ・Instagramの投稿は活発にできなかった。
アウトプット i)-1 勉強会・イベント参加者が、ESG投資や気候変動に関する政策・企業活動の課題について理解を深める(アンケートにより計測)。 i)-2 気候変動以外のESGウォッチプロジェクトの新しいテーマが定まる。 ii) 宣言の賛同者400人(内訳は下記)を集める。 ・公式ウェブサイト及びESGウォッチ特設サイト経由で、200人が賛同する。 ・勉強会・イベントに年間100人が参加し、内50人が賛同する。 ・Instagramフォロワーを200人に増やし、内50人が賛同する。 ・ブース出展で100人が賛同する。	i)-1 勉強会・イベントを実施できなかった。 i)-2 気候変動以外の活動テーマを検討したが、2024年度は第1回調査との比較分析に力をいれることとしたため別テーマでの活動実施は行なわなかった。 ii) 勉強会を実施できず、2024年度アースデイ東京以外のブース出展の機会を作れなかったため、ESGウォッチ宣言の賛同を増やせなかった。 -2024年度 ESGウォッチ宣言数:48 (2025年5月時点 ESGウォッチ宣言数:49) -Instagramフォロワー数:132(2025年5月時点)
【対金融】	
事業計画 i) 日本の大手資産運用会社15~20社ほどのESGの取り組み状況をスコアリングし、結果をプレスリリースで発信する(年1回) ii) スコアリング対象の運用会社にスコアリング結果を送り、ESGウォッシュ全般や気候変動に関する情報提供・対話を実施する	i) 2024年度(第2回)資産運用会社の気候変動への取り組み状況調査を国内の大手資産運用会社16社を対象として行い、6社からの回答を得てスコアリング結果をプレスリリースした(2025年4月)。 ii) 調査やプレスリリースの時期が2025年度にずれ込んだため、情報提供・対話は未実施。
アウトプット i) プレスリリースした内容がメディアに掲載され	i) 1社に掲載

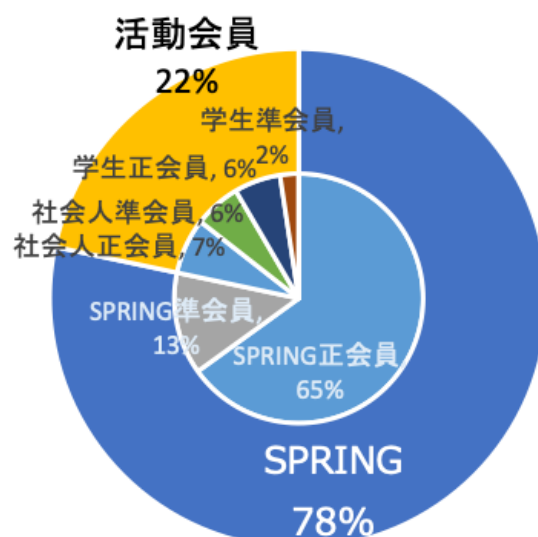
る。 ii) 最低7つの運用会社と対話を行い、最低1社がこちらの情報提供に応じた運用方針・取り組みの強化の意志を示す。	オルタナ「1位はアセマネOne、国内資産運用16社の脱炭素ランキング」(2025年4月16日) https://www.alterna.co.jp/153986/ ii) 運用会社との対話は未実施
---	---

事務局報告

・会員

2023年度と比べてSPRING会員は9人退会しました（その内、1人はマンスリーサポーターに移行）。社会人（Root）会員は1人減、学生（Tree）会員は3人増となりました。（2025年3月31日時点）

会員種別	会員数	2023年度からの増減数
SPRING正会員	54	-13 (67)
SPRING準会員	11	+4 (7)
社会人正会員	6	-3 (9)
社会人準会員	5	+2 (3)
学生正会員	5	+2 (3)
学生準会員	2	+1 (1)
個人賛助	0	0
合計	83	-7 (90)



・マンスリーサポーター

人数	2023年度からの増減数
11人	-1人

・オリエンテーション

オリエンテーションは93人の申し込みがあったが、当日連絡なしの不参加も多く参加者は32人になっている。

オリエンテーション参加者	32人
ミーティング見学者	内 15人
新規会員	内 5人(学生3人、社会人2人)

オリエンテーション企画「しゃべり場！」

「しゃべり場！」とは、普段のオンラインでの活動の場以外でメンバー同士A SEED JAPANへの思いを共有し、毎回テーマに沿ってワイワイガヤガヤ話し、A SEED JAPANの戸を叩いたメンバーの問題意識を深め高め、仲間と共有する場として実施しています。

・広報

2024年度はニュースレターの配信は実施しませんでした。
Facebook、ウェブサイトを通じて情報発信しています。

・委員派遣

期間	内容	派遣者
2024年4月～2025年3月	脱炭素チャレンジカップ (事務局:一般社団法人 地球温暖化防止全国 ネット<JNCCA>)	鈴嶋

・賛同案件

日付	内容	呼びかけ団体
2024年11月	気候変動等に取り組む若 者団体による共同要望書	一般社団法人 日本若者協議会／持続 可能な社会に向けたジャパンユースブ ラットフォーム(JYPS)事務局／青年環 境NGO Climate Youth Japan

・加盟団体

団体／ネットワーク名	関わり方(いずれも団体)	備考
認定NPO法人気候ネットワーク	賛助会員	https://www.kiconet.org/
認定NPO法人日本NPOセンター	準会員	https://www.jnpoc.ne.jp/
SDGs市民社会ネットワーク	情報会員	https://www.sdgs-japan.net/
消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク	参加団体	https://cnrc.jp/members/
Fair Finance Guide Japan	協力団体	https://fairfinance.jp/
パワーシフト・キャンペーン	賛同団体	https://power-shift.org/
eシフト	参加団体	http://e-shift.org/

2024年度 活動計算書

2024年4月1日から

2025年3月31日まで

特定非営利活動法人A SEED JAPAN

(単位：円)

科 目		金 額		
I 経常収益				
1 受取会費				
正会員受取会費	36,000			
準会員受取会費	31,000			
SPRING会員受取会費	357,500			
賛助会員	0	424,500		
2 受取寄附金				
SPRING会員	232,500			
その他受取寄附金	336,436	568,936		
3 受取助成金等				
受取助成金振替額	558,470	558,470		
4 事業収益				
(1)環境及び社会問題に関する情報収集・提供事業	0			
(2)環境及び社会問題に関する普及啓発事業	33,137	33,137		
5 その他収益				
受取利息	4,994			
雑収入	36,813	41,807		
経常収益計				1,626,850
II 経常費用				
1 事業費				
(1)人件費				
給料手当	5,400			
法定福利費	3,086			
人件費計	8,486			
(2)その他経費				
地代家賃	240,000			
備品消耗品費	4,831			
通信費	0			
発送費	1,980			
旅費交通費	110,484			
研究研修費	23,600			
会議費	18,688			
諸会費	5,000			
保険料	0			
支払手数料	9,754			
謝金・業務委託費	246,000			
出店・設備レンタル費	49,390			
印刷製本費	33,113			
広告宣伝費	52,800			
水道光熱費	0			
雑費	0			
その他経費計	795,640			
事業費計		804,126		
2 管理費				
(1)人件費				
給料・賞与	0			
法定福利費	0			
人件費計	0			
(2)その他経費				
地代家賃	240,000			
備品消耗品費	35,200			
通信費	47,263			
発送費	0			
旅費交通費	2,126			
諸会費	6,375			
支払手数料	27,924			
謝金・業務委託費	119,041			
印刷製本費	0			
水道光熱費	0			
修繕費	0			
雑費	0			
その他経費計	477,929			
管理費計		477,929		
経常費用計				1,282,055
当期経常一般正味財産増減額				344,795
当期一般正味財産増減額				344,795
前期繰越一般正味財産額				9,424,710
次期繰越一般正味財産額				9,769,505
指定正味財産増減の部				
I 受取助成金		0		0
II 一般正味財産への振替額		-558,470		-558,470
当期指定正味財産増減額				-558,470
前期繰越指定正味財産額				1,111,808
次期繰越指定正味財産額				553,338
次期繰越正味財産額				10,322,843

2024年度 貸借対照表

2025年 3月 31日現在

特定非営利活動法人A SEED JAPAN

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	22,537		
普通預金	10,213,782		
未収入金	81,250		
未収金	8,168		
商品	42,366		
前払費用	47,828		
流 動 資 産 合 計		10,415,931	
2 固定資産			
長期前払費用	8,140		
固 定 資 産 合 計		8,140	
資 産 合 計			10,424,071
II 負債の部			
1 流動負債			
未払費用	89,560		
預り金	8,168		
前受収益	3,500		
流 動 負 債 合 計		101,228	
2 固定負債			
固 定 負 債 合 計		0	
負 債 合 計			101,228
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
前期繰越指定正味財産	1,111,808		
当期指定正味財産増減額	-558,470		
指 定 正 味 財 産 合 計		553,338	
2 一般正味財産			
前期繰越一般正味財産	9,424,710		
当期一般正味財産増減額	344,795		
一 般 正 味 財 産 合 計		9,769,505	
正 味 財 産 合 計			10,322,843
負債及び正味財産合計			10,424,071

2024年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人A SEED JAPAN

1. 重要な会計方針
- 計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。
- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
- 最終仕入原価法を採用しております。
- (2) 消費税等の会計処理
- 税込み経理によっています。
2. 事業別損益の状況
- 別紙参照
3. 使途等が制約された寄附金等の内訳
- 使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。
- 当法人の正味財産は 10,322,843円ですが、そのうち 553,338円は、下記のように使途が特定されています。
- したがって使途が制約されていない正味財産は 9,769,505円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
パタゴニア環境助成金	1,111,808	0	558,470	553,338	翌期に使用予定の活動資金
合計	1,111,808	0	558,470	553,338	

別紙

注記2. 事業別損益の状況(2024年度分)

(単位:円)

科目	環境及び社会問題に関する普及啓発事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益				
受取会費	0	0	424,500	424,500
受取寄附金	0	0	568,936	568,936
受取助成金等	558,470	558,470	0	558,470
事業収益	33,137	33,137	0	33,137
その他収益	0	0	41,807	41,807
経常収益計	591,607	591,607	1,035,243	1,626,850
II 経常費用				
(1)人件費				
給料手当	5,400	5,400	0	5,400
法定福利費	3,086	3,086	0	3,086
人件費計	8,486	8,486	0	8,486
(2)その他経費				
地代家賃	240,000	240,000	240,000	480,000
備品消耗品費	4,831	4,831	35,200	40,031
通信費	0	0	47,263	47,263
発送費	1,980	1,980	0	1,980
旅費交通費	110,484	110,484	2,126	112,610
研究研修費	23,600	23,600	0	23,600
会議費	18,688	18,688	0	18,688
諸会費	5,000	5,000	6,375	11,375
保険料	0	0	0	0
支払手数料	9,754	9,754	27,924	37,678
謝金・業務委託費	246,000	246,000	119,041	365,041
出店・設備レンタル費	49,390	49,390	0	49,390
印刷製本費	33,113	33,113	0	33,113
広告宣伝費	52,800	52,800	0	52,800
水道光熱費	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0
その他経費計	795,640	795,640	477,929	1,273,569
経常費用計	804,126	804,126	477,929	1,282,055
当期経常増減額	-212,519	-212,519	557,314	344,795

2024年度 財産目録

2025年 3月 31日現在

特定非営利活動法人A SEED JAPAN

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金	22,537		
みずほ銀行	4,353,648		
中央労働金庫	4,637,345		
ゆうちょ銀行	597,128		
楽天銀行	625,661		
未収入金			
寄附金	70,250		
謝金	11,000		
未収金（仮払い現金）	8,168		
商品（書籍等）	42,366		
前払費用			
出店・設備レンタル費	46,200		
ドメイン利用料	1,628		
流 動 資 産 合 計		10,415,931	
2 固定資産			
長期前払費用（ドメイン利用料）	8,140		
固 定 資 産 合 計		8,140	
資 産 合 計			10,424,071
II 負債の部			
1 流動負債			
未払費用			
会計業務報酬	46,990		
事務所家賃	40,000		
事業交通費	2,570		
預り金			
源泉所得税（給与）	0		
源泉所得税（士業）	0		
源泉所得税（報酬）	8,168		
前受収益			
2025年度会員年会費	3,500		
流 動 負 債 合 計		101,228	
2 固定負債			
固 定 負 債 合 計		0	
負 債 合 計			101,228
正 味 財 産			10,322,843

監事監査報告書

監査の結果、2024 年 4 月 1 日より 2025 年 3 月 31 日までの第 11 期事業年度における財務諸表等及び活動報告は、同時点の特定非営利活動法人 A SEED JAPAN の財産及び収支並びに理事の業務執行の状況を適正に表示しているものと認めます。

以上

2025 年 5 月 11 日
特定非営利活動法人 A SEED JAPAN

監事	矢口 拓也	
監事	山田 遼	